

50 山形県奨励品種(水稻)等の特性一覧表

| 品 種 名 (系統名) 両 親 名 | 採 用 年 度 | 出 穂 期 月 日 | 成 熟 期 月 日 | 稈 長 cm | 穂 長 cm | 穂 数 本/㎡ | 芒 の 多 少 ・ 長 短 | 草 穂 の 型 | 稈 の 性 | 玄 米 | | | | 食 味 | 諸 抵 抗 性 | | | | | 生 育 の 特 徴 | | | 栽培上の留意点 | | | |
|---|------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------------------------|------------------|-------------|-----------------------|--------|--------|------------------|--------|---------|------------------|------------------|-------------|--------|------------------|------------------|----------------------|---------------------------------------|-------------------------------|--|---|
| | | | | | | | | | | 色 沢 ・ 光 沢 | 心 白 | 腹 白 | 千 粒 重 g | | 品 質 | 葉 い も ち | 穂 い も ち | 白 葉 枯 | 紋 枯 | 耐 冷 性 | 耐 倒 伏 性 | 生育初期 | | 生育中期 | 生育後期 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 移植～節間 伸長始期まで | | 節間伸長始期 ～穂期まで | 穂期～ 成熟期まで | |
| [奨励品種] は え ぬ き (山形45号) 庄内29号×秋田31号(あきたこまち) | 平成3年 | 8月7日 | 9月19日 | 73.0 | 17.6 | 477 | 中・中 | 中 | 中 | 中 | 中 | 上の中 | 上の中 | 中 | 中 | やや弱 | - | 極強 | 強 | 育苗はやや短めで分げつは少ない。 | 葉色濃く生育量は少なめである。 | 短稈短穂で疎粒であることから登熟が早い。 | 初期成育を確保し、十分な籾数確保に努めるとともに刈り遅れないよう注意する。 | | | |
| [優良品種] ど ま ん な か (山形35号) 中部42号(イブキ)×庄内29号 | 平成3年 | 8月3日 | 9月13日 | 83.0 | 18.8 | 423 | やや少・中 | 中 | 難 | 淡 | 澁 | - | 少 | 23 | 上の中 | 上の中 | やや弱 | やや弱 | 中 | - | 中 | やや強 | 草丈はササ並みで分げつはやや少ない。 | 生育量は中庸で受光態勢がすぐれる。 | 中間で、粒着も中程度であることから登熟は比較的早い。 | 中稈中間型で特性的にバランスのとれた品種であるが、いもち病に弱いので適期防除に努める。 |
| [優良品種] サ サ ニ シ キ (東北78号) 奥羽224号(ハツシ)×ササシグレ | 昭和39年 | 8月6日 | 9月17日 | 83.8 | 18.1 | 474 | 少・短 | 穂数 | 中 | 淡 | 澁 | - | 多 | 21.3 | 上の中 | 上の中 | やや弱 | 弱 | 弱 | 中 | やや弱 | 弱 | 分けつしやすい。初期の低温で生育が遅れやすい。 | 葉身と節間が伸びやすい。 | 止葉が大きいと倒伏しやすく登熟が悪くなる。 | 健苗を適期に移植するとともに少肥で受光態勢をよくし、いもち病に注意する。生育量が過大になると、倒伏しやすく、品質も低下するので生育調節を十分行う。 |
| [優良品種] は な の 舞 い (庄内32号) 北陸99号×コシヒカリ | 昭和62年 | 7月29日 | 9月7日 | 87.2 | 17.7 | 419 | 少・短 | 偏穂重 | 難 | 淡 | 澁 | - | 少 | 21.6 | 上の中 | 上の中 | やや強 | 中 | やや弱 | 中 | 極強 | 中 | 苗は長めで分けつは少なく草丈長い。 | 節間は長めでやや長稈になりやすい。 | 葉身はやや長い枯れが枯れが上がりは少ない。 | 健苗の適期、田植と保温的水管理によって生育促進を図り、早期に茎数を確保する。多肥栽培を避け、受光態勢を良くして登熟向上に努める。 |
| [優良品種] あ き た こ ま ち (秋田143号) コシカ×奥羽292号 | 平成9年 | 8月2日 | 9月11日 | 86.0 | 18.4 | 450 | 少・短 | 偏穂数 | 難 | 中 | 澁 | - | 少 | 22.1 | 上の中 | 上の中 | やや弱 | やや弱 | 強 | 中 | 中 | 苗は葉色濃く短苗である。 | 葉色が濃くその後草丈が伸長する傾向がある。 | 登熟後期の枯れ上がりにより稈質が低下しやすい。 | 高温登熟性がやや劣り白粒の発生が見られるので平坦部での極端な早植えを避ける。また、下葉枯れが多くなりやすいので、中干しや間断かん水に努める。 | |
| [優良品種] ひ と め ぼ れ (東北143号) コシカ×初星 | 平成9年 | 8月7日 | 9月17日 | 81.3 | 19.1 | 444 | やや少・短 | 偏穂数 | やや難 | 中 | 澁 | - | - | 22.6 | 上の中 | 上の中 | やや弱 | 中 | やや弱 | - | 極強 | やや弱 | 葉色は濃く推移しやすい。 | 分けつの発生はササより少なく、葉色は濃く推移する。 | 稈長はワリ並でやや長く、穂数はササより少ない。一次枝梗割合が高く、登熟が早い。 | ササニシキより穂数、一穂もみ数が少なく、栽植密度や施肥に配慮し、もみ数の確保に努める。 |
| [優良品種] コ シ ヒ カ リ 農林22号×農林1号 | 平成9年 | 8月13日 | 9月24日 | 91.2 | 18.1 | 422 | 少・短 | 偏穂重 | 難 | 濃 | 澁 | - | - | 21.3 | 上の中 | 上の中 | 弱 | 弱 | 強 | - | 極強 | 弱 | 苗は、はなの舞い並に伸びやすく葉数が進みにくい。 | 分けつはササより少なく葉身が伸びやすく、葉色は比較的淡い。 | 長稈で稈質もやや柔であり耐倒伏性は弱である。 | 晩生種のため、条件のよい平坦地での作付けに限る。生育量やもみ数の増加は倒伏や登熟不良に結びつくため、施肥や栽植密度に留意する。 |

50 山形県奨励品種(水稻)等の特性一覧表

| 品 種 名 (系統名) 両 親 名 | 採 用 年 度 | 出 穂 期 月 日 | 成 熟 期 月 日 | 稈 長 cm | 穂 長 cm | 穂 数 本/m ² | 芒 の 多 少 ・ 長 短 | 草 穂 の 型 | 穂 発 芽 性 | 玄 米 | | | | | 食 味 | 諸 抵 抗 性 | | | | | 生 育 の 特 徴 | | | 栽培上の留意点 | |
|---|------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|--------------|----------------------------|---------------------------------|------------------|------------------|-----------------------|--------|--------|------------------|-------------|-------------|------------------|------------------|-------------|--------|-------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|--|--|
| | | | | | | | | | | 色 沢 ・ 光 沢 | 心 白 | 腹 白 | 千 粒 重 g | 品 質 | | 葉 い も ち | 穂 い も ち | 白 葉 枯 | 紋 枯 | 耐 冷 性 | 耐 倒 伏 性 | 生育初期 | 生育中期 | | 生育後期 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 移植～節間 伸長始期まで | 節間伸長始期 ～穂孕期まで | | 穂孕期～ 成熟期まで |
| [認定品種] 雪 化 粧 (山形22号) 奥羽301号(アキタカ)×び系94号 | 平成 3年 | 7月 31日 | 9月 17日 | 84.8 | 20.6 | 383 | 少・短 | 偏穂重 | 中 | 淡 ・ 良 | - | 少 | 23.1 | 中 の 上 | 中 の 中 | 中 | や や 強 | や や 弱 | - | 中 | や や 強 | 草丈はやや長 めで分げつは やや少ない。 | 草丈はキヨニ シキよりも長 く茎が太い。 | やや長穂であ るが稈が強く 粒着も多い。 | 偏穂重型で強稈多収品種であるが、目標収量は 720kg/10a程度を上限とする。 |
| [認定品種] ゆ き の 舞 庄1658×山形64号 | 平成 16年 | 8月 1日 | 9月 11日 | 66.0 | 17.3 | 454 | 無 | 中 間 | 中 | - | - | 少 | 22.4 | 上 の 下 | 上 の 中 | や や 強 | 弱 | や や 弱 | - | 極 強 | 強 | 苗丈短く、草 丈も短い。茎 数はやや多い。 葉色はやや濃 い。 | 草丈は短く、 茎数はやや多 い。葉色はや や濃い。 | 稈長は短い。 止葉が立ち、 草姿がよい。 | 穂いもちのほ場抵抗性が弱なので、移植時の 箱施用剤使用など適期適正防除に努める。品 質と食味特性を低下させないため、多肥栽培 は行わない。 |
| [優良品種・もち] ヒ メ ノ モ チ (奥羽糯277号) 大系227号×こがねもち | 昭和 47年 | 8月 1日 | 9月 10日 | 79.0 | 18.6 | 405 | 少・短 | 偏穂重 | 易 | 乳 白 ・ 中 | - | - | 21.6 | 上 の 下 | 上 の 下 | 強 | 強 | 弱 | 強 | 中 | 中 | 苗はやや長め で分げつは並。 | 葉身はやや長 めだが、節間 の伸びは並。 | 登熟は比較的 安定している。 | 白葉枯病に弱いので白葉枯病の多発地帯は不 適。稈混入となりやすいので、種子更新に努 める。 |
| [優良品種・もち] で わ の も ち (び系糯60号) び系38号×中新糯40号 | 昭和 41年 | 8月 11日 | 9月 23日 | 81.4 | 18.0 | 423 | 無 | 偏穂重 | 易 | 乳 白 ・ 中 | - | - | 19.1 | 上 の 下 | 上 の 下 | や や 弱 | 中 | 弱 | 弱 | 弱 | や や 弱 | 分げつはやや とりやすい。 | 節間伸長は 並。 | 止葉は大きく なるとやや草 姿が崩れる。 | 葉いもちに弱い。早植し、生育を進める。 |
| [優良品種・もち] 山 形 糯 87 号 (山形糯87号) わたぼうし×山形糯55号 | 平成 18年 | 8月 5日 | 9月 17日 | 82.3 | 19.8 | 370 | 無 | 偏穂重 | 易 | 乳 白 ・ 良 | - | - | 22.5 | 上 の 中 | 上 の 中 | や や 弱 | 強 | 中 | 強 | や や 強 | 苗丈は並み で、分げつは ややとりやす い。 | 葉色はやや濃 い、節間伸長 は並み。 | 登熟早く、草 姿は良い。 | 倒伏には強いが穂発芽性は”易”であること から、適期刈り取りに努める。 | |
| [優良品種・酒米] 出 羽 燦 々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号(華吹雪) | 平成 7年 | 8月 4日 | 9月 16日 | 89.0 | 19.0 | 320 | 無 | 穂重 | やや難 | 中 飴 ・ 良 | 多 | 少 | 26.5 | 上 の 下 | - | や や 弱 | や や 弱 | 中 | - | や や 強 | 中 | 苗はやや長め で分げつはと れにくい。 | 葉色はやや淡 く、節間がや や伸びやすい。 | 美山錦より稈 はやや短い。 | 保温的水管理で分げつを促進する。千粒重を 確保するためm ² 当たり籾数を多くしない。葉 いもちに弱いので適期防除に努める。 |
| [優良品種・酒米] 美 山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異 | 昭和 63年 | 8月 1日 | 9月 14日 | 93.4 | 20.0 | 362 | 無 | 穂重 | 難 | 中 飴 ・ 良 | 中 | 少 | 24.9 | 中 の 上 | - | や や 強 | 中 | 中 | - | や や 強 | や や 弱 | 苗はやや長め で分げつとれ にくい。 | 葉色はやや淡 く、節間が伸 びやすい。 | 長穂で倒伏し やすい。 | 保温的水管理で分げつを促進する。倒伏しや すいので、生育調整を徹底する。千粒重を確 保するためm ² 当たり籾数を多くしない。 |
| [認定品種・酒米] 出 羽 の 里 滋系酒56号×山形酒49号 | 平成 16年 | 8月 7日 | 9月 21日 | 79.0 | 18.3 | 413 | 無 | 偏穂重 | やや難 | - | 多 | 極 少 | 26.3 | 上 の 中 | - | や や 強 | や や 強 | や や 強 | - | 極 強 | 中 | 草丈はやや短 く、分げつは とりやすい。 | 草丈はやや短 く、茎数はや や多い。節間 伸長は並。 | 稈長は長すぎ ず、草姿は良 い。 | 醸造適性を低下させないため、多肥栽培を避 ける。葉いもち及び穂いもちのほ場抵抗性が 不十分なので適期防除に努める。 |